様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

610　　令和　8年　6月　5日現在

①	ふりがな 氏名	おおむろ　ともき 大室　智暉
④ 所属先	所属先名称	合同会社 東北野生動物保護管理センター
	役職名	研究員
⑥ 専門分野 ※該当に✓を記入		☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☑ 地域合意形成　☑ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☑ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
⑦ 対象鳥獣 ※該当に✓を記入		☑ シカ　☑ イノシシ　☐ サル　☑ クマ（ツキノワグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☑ その他鳥獣（　カモシカ　　）
⑧ 対応可能地域 ※該当に✓を記入		☐ 全国　☐ 北海道　☑ 東北　☐ 関東　☐ 北陸　☐ 東海 ☐ 近畿　☐ 中国　☐ 四国　☐ 九州　☐ 沖縄 ☐ その他※特定の都道府県、地域（　　）
⑨ 免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入		☑ 狩猟免許　（ 銃：取得年 H　28　年　、　わな：H　28　年 ） ☐ 鳥獣プロデータバンク　（☐ 鳥獣保護管理プランナー　☐ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター　☐ 鳥獣保護管理調査コーディネーター） ☑ 鳥獣管理士（　　2　　）級 ☐ ジビエ利活用コーディネーター ☐ その他（　　）

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

610　　令和　8年　6月　5日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和5年7月～令和6年3月
地域	宮城県気仙沼市
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☐ 周辺環境整備　☑ 地域合意形成　☑ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☑ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☑ シカ　☑ イノシシ　☐ サル　☑ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☑ その他鳥獣（　　カモシカ　　）
活動の内容	ニホンジカによる農林業被害が課題となっている気仙沼市唐桑地区において、被害対策の効果的な実施と継続的な改善につなげるため、被害実態及び対策状況の可視化を目的とした業務を実施した。 集落代表者や住民へのヒアリング、集落点検、センサーカメラ調査により、地区全域での野生動物の出没状況や被害発生箇所、侵入経路等を把握・整理した。得られたデータを活用し、地域住民に対してはニホンジカの生態や電気柵による侵入防止技術について説明し、実施隊に対しては誘引捕獲をはじめとした捕獲手法やICT機器を活用した捕獲技術について現地指導を実施した。また、地域住民との合意形成を図りながら侵入箇所の対策やメンテナンス体制の強化を進めるとともに、捕獲期間中の継続的な技術指導を通じて、地域主体による被害対策を支援した。 また、ニホンジカ対策に加え、ツキノワグマ、イノシシ及びカモシカとの錯誤捕獲防止や侵入防止柵の適切な管理・改良についても関係者に指導を行った。

様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

610　　令和　8年　6月　5日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和5年4月～令和6年3月、令和6年4月～令和7年3月、令和7年3月～令和8年3月
地域	山形県全域
対策の種類 ※該当に✓を記入	□ 捕獲手法　□ 侵入防止技術　□ 周辺環境整備　□ 地域合意形成　☑ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　□ ICT機器の活用（捕獲通知等）　□ 処理（焼却・減容化） □ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	□ シカ　☑ イノシシ　□ サル　□ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） □ ハクビシン　□ アライグマ　□ アナグマ □ カラス　□ カモ　□ ヒヨドリ　□ スズメ　□ ムクドリ □ その他鳥獣（　　）
活動の内容	山形県委託事業において、イノシシの生息状況調査、捕獲実績の解析及び生息個体数の推定を実施した。その結果、生息個体数が多いにもかかわらず捕獲効率が低い地域や、目撃件数が多い一方で捕獲圧が不足している地域など、地域ごとの課題を整理した。さらに、これらの分析結果を基に、次年度の指定管理鳥獣捕獲等事業における実施区域や捕獲方針の検討を行い、事業計画の素案作成を支援した。

⑫活動実績	
活動期間	①令和5年4月～令和6年3月、②令和6年4月～令和7年3月、②令和7年3月～令和8年3月
地域	①宮城県石巻市、女川町、大崎市、栗原市　②宮城県大崎市
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　□ 侵入防止技術　□ 周辺環境整備　□ 地域合意形成　☑ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☑ ICT機器の活用（捕獲通知等）　□ 処理（焼却・減容化） □ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☑ シカ　☑ イノシシ　□ サル　☑ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） □ ハクビシン　□ アライグマ　□ アナグマ □ カラス　□ カモ　□ ヒヨドリ　□ スズメ　□ ムクドリ □ その他鳥獣（　　）
活動の内容	①侵入初期段階のにおける個体群管理に活用するため、ニホンジカの2地域での生息状況調査（ライトセンサス調査・GPS首輪の装着及び追跡調査）を行い、データを基に、ICT機器と自動給餌器を用いた捕獲方法（囲いわな、くくりわな）、GPSデータを用いた生息適地予測、嗜好性の高い環境要因の分析を行った。 ②イノシシとツキノワグマの生息域が重複する地域において、生息状況調査（カメラトラップ調査・痕跡調査）に基づき捕獲地点を選定し、錯誤捕獲防止効果を有する複数種類のくくりわな及びICT機器を活用した捕獲を実施した。また、捕獲結果を分析し、各捕獲手法及びICT機器の有効性について検証を行った。 その結果、多頭群に対しては一度に複数個体を捕獲できず取り逃がしが発生することや、誘引餌を用いる場合にはツキノワグマの誘引リスクを考慮し、撮影頻度やわなの配置を工夫する必要があることなどの課題を整理した。さらに、県、市町村及び実施隊に対し、囲いわなや箱わなを含めた多様な捕獲手法の導入や、餌を一点に集中させず分散配置することによる群れ行動への対応など、捕獲効率の向上と錯誤捕獲防止に向けた改善策を提案し、技術的助言を行った。

⑫活動実績	
活動期間	令和5年5月～令和6年3月、令和6年5月～令和7年3月、令和7年5月～令和8年3月
地域	山形県全域
対策の種類 ※該当に✓を記入	□ 捕獲手法　□ 侵入防止技術　□ 周辺環境整備　□ 地域合意形成　☑ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　□ ICT機器の活用（捕獲通知等）　□ 処理（焼却・減容化） □ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	□ シカ　□ イノシシ　□ サル　□ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） □ ハクビシン　□ アライグマ　□ アナグマ □ カラス　□ カモ　□ ヒヨドリ　□ スズメ　□ ムクドリ ☑ その他鳥獣（　カモシカ　）
活動の内容	山形県委託事業において、南奥羽山系及び朝日・飯豊山系カモシカ保護地域におけるカモシカの維持管理を目的として、生息状況調査（定点観察）、調査地点の環境記録並びに市町村担当課、猟友会及び森林組合へのヒアリングを実施した。 その結果、過年度調査結果との比較から、保護地域内には継続的に利用されている地域と利用が確認されない地域が存在することを把握した。また、目撃情報は市街地周辺に偏る傾向があり、保護地域周辺における生息実態を十分に把握できていないことが課題として整理された。 これらの結果及び、既往研究等の科学的知見を踏まえ、現行の日中のみの定点観察に加え、昼夜問わず調査が可能なカメラトラップ調査など複数の調査手法を組み合わせた継続的なモニタリング体制の構築が必要であることを提案し、今後の調査手法及び保護管理の方向性について助言を行った。